

高血糖・高血圧における免疫

○血糖値・血圧が高い状態が慢性的に続くと以下ようになります¹⁾。

- 免疫細胞のサイトカイン産生量や病原体への反応性が低下する。
- 血行が悪化することで体に栄養がいきわたらなくなり、白血球が感染部位に到達しにくくなって、感染しやすくなる。
- 感染で受けた傷を修復する機能も低下することで、抗生物質などの薬物治療でも薬が感染部位に到達しにくくなり、薬の効果が弱くなる。

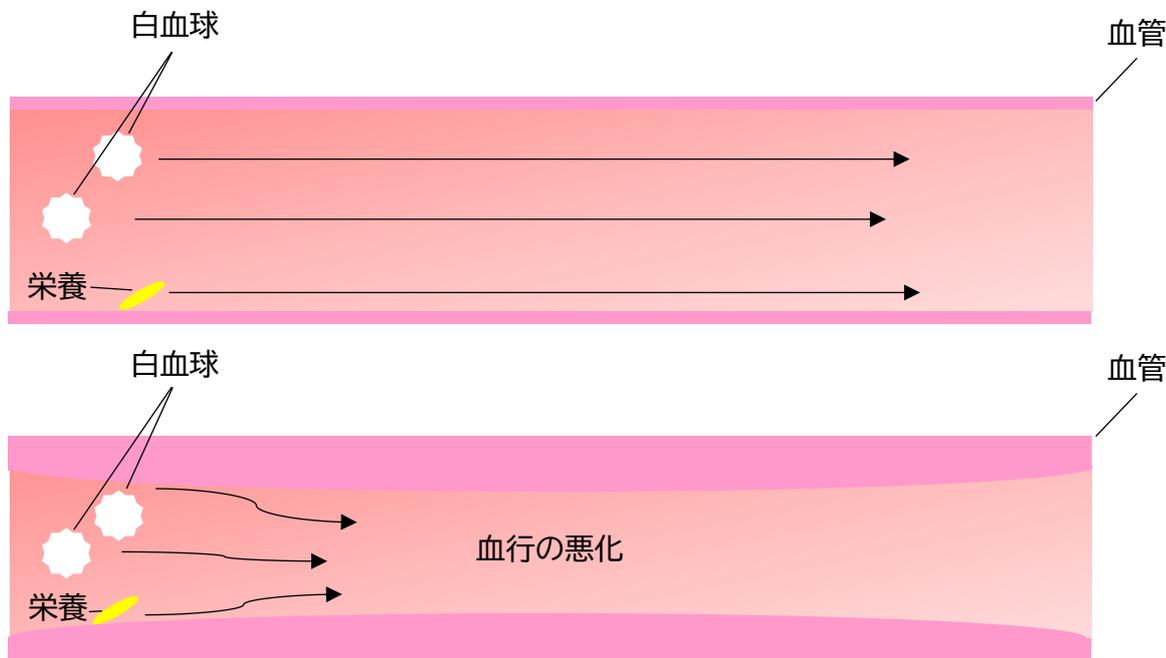


図1:正常な血管(上)と慢性的な高血糖・高血圧の血管(下)

免疫細胞本来の機能が低下し、かつ動きにくい状況にされることで本来の仕事がこなせないということですね。

免疫力の低下は文字通り万病のもとと言っても過言ではありません。

血糖・血圧の上手なコントロールを心がけていきたいですね。

参考文献

- 1) Schuetz P, et al : Diabetes and sepsis : preclinical findings and clinical relevance. Diabetes Care 34: 771—778, 2011.